磐梯山の火山活動解説資料（平成 24 年２月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年３月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル１、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図２～３）

剣ヶ峰（山頂の北約７km）に設置してある遠望カメラでは、山体北側火口壁からの噴気の高さは 14 日に一時的に 200ｍとなりましたが、概ね 100ｍ以下で噴気活動は低調な状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図４～５）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図６～７）

GPS 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

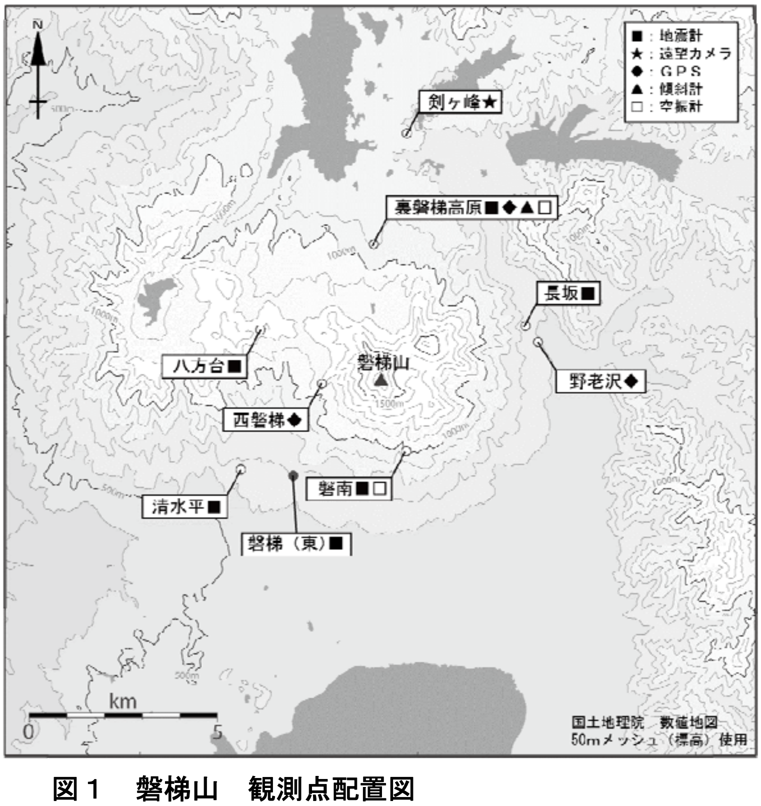

図１　磐梯山　観測点配置図
小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
（東）：東北大学

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（http://www.jma-net.go.jp/sendai/）や、気象庁ホームページ（http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年３月分）は平成 24 年４月９日に発表する予定です。

※この記号の資料は、気象庁のデータの他、国土地理院のデータを利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50ｍメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号　平 23 情使、第 467 号）。

図２　磐梯山　山体北側火口壁の噴気の状況（２月 14 日 08 時 45 分頃）
剣ヶ峰（山頂の北約７km）に設置してある遠望カメラによる。
実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 200m。

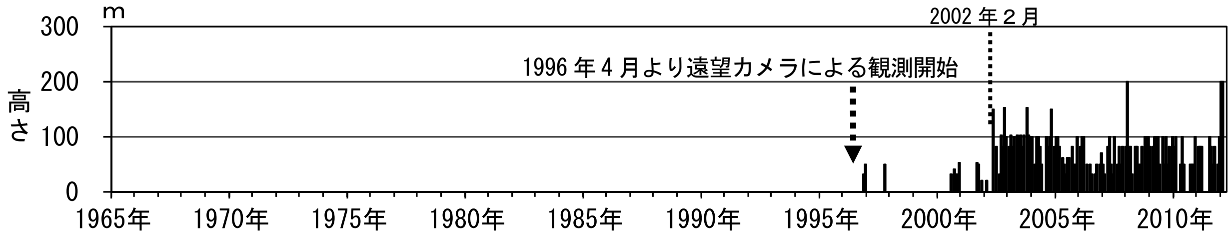

図３　磐梯山 月最大噴気高（1996 年４月～2012 年２月）
2002 年２月以前は定時(09 時、15 時)及び随時観測による高さです。
2002 年２月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

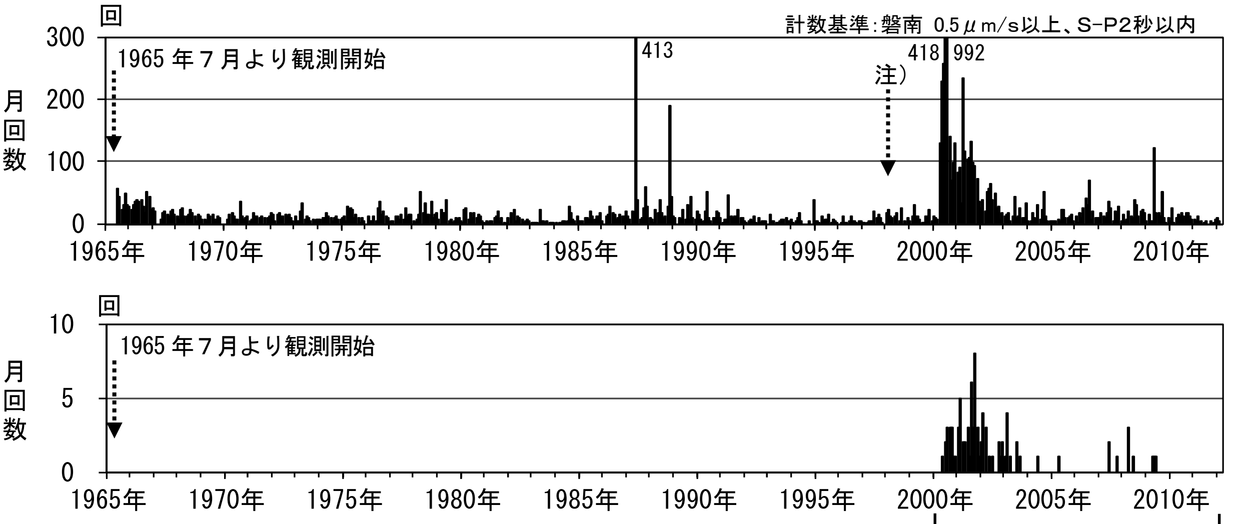

図４　磐梯山 上段：月別地震回数（1965 年７月～2012 年２月）
下段：月別微動回数（1965 年７月～2012 年２月）

注）1998 年より計数基準を S-P５秒以下から S-P２秒以下に変更しました。

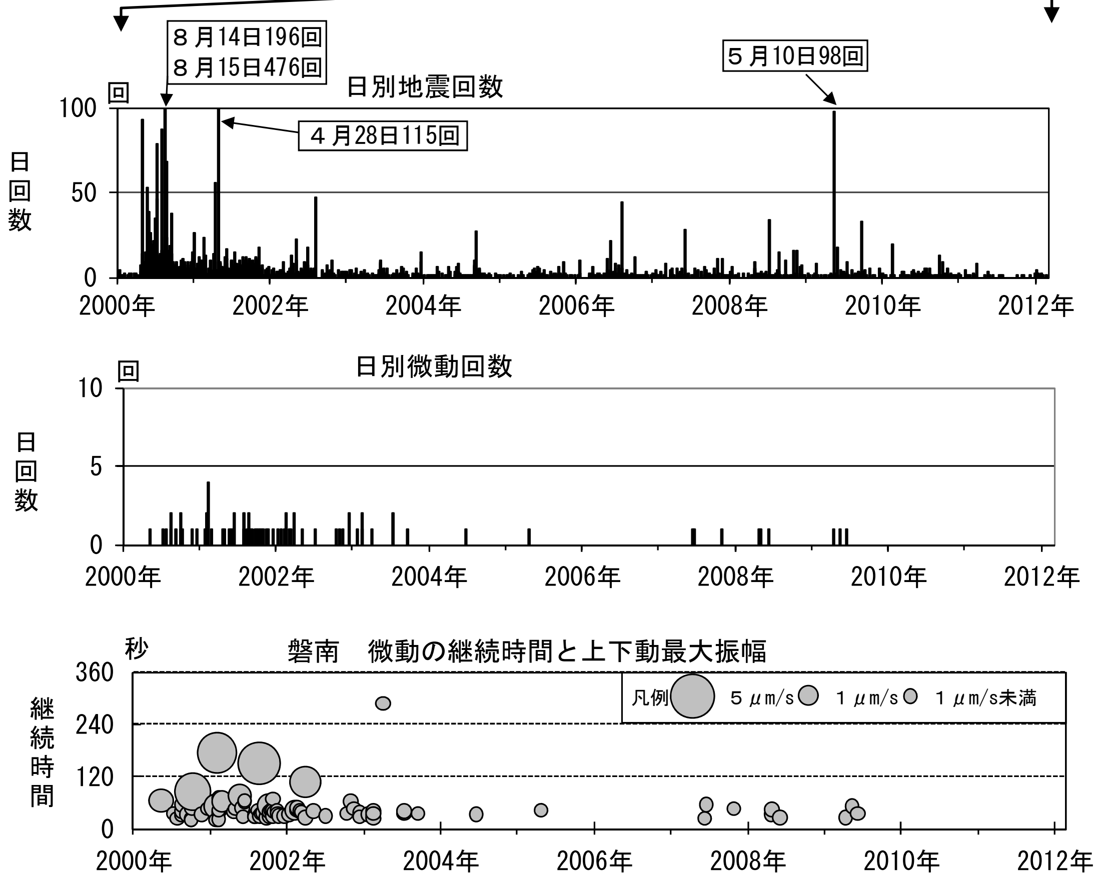

図５　磐梯山 最近の地震と微動の活動経過図（2000 年１月～2012 年２月）

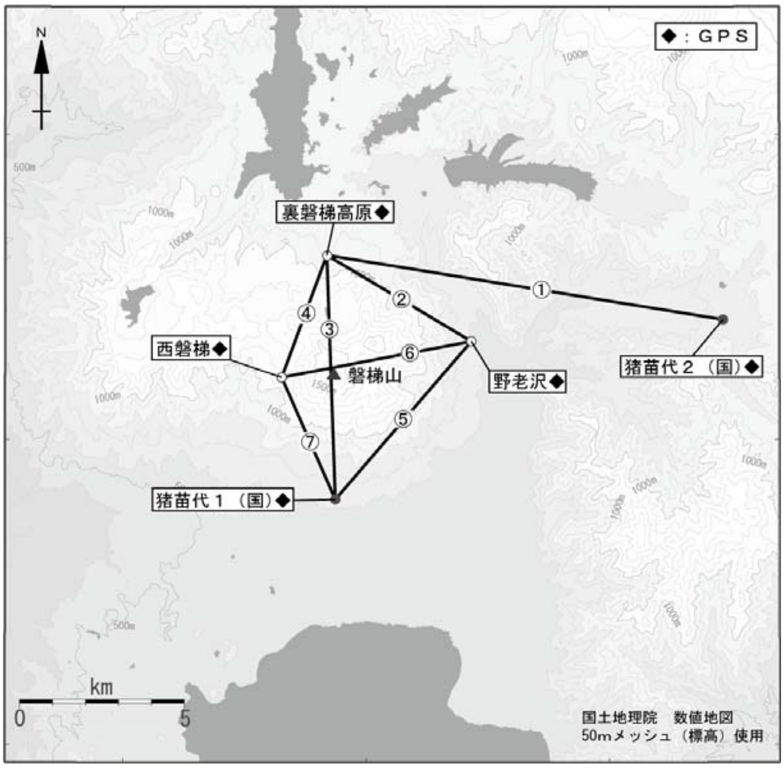

図６　磐梯山　GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の
機関の観測点位置を示しています。（国）：国土地理院
GPS 基線①～⑦は図７の①～⑦に対応しています。

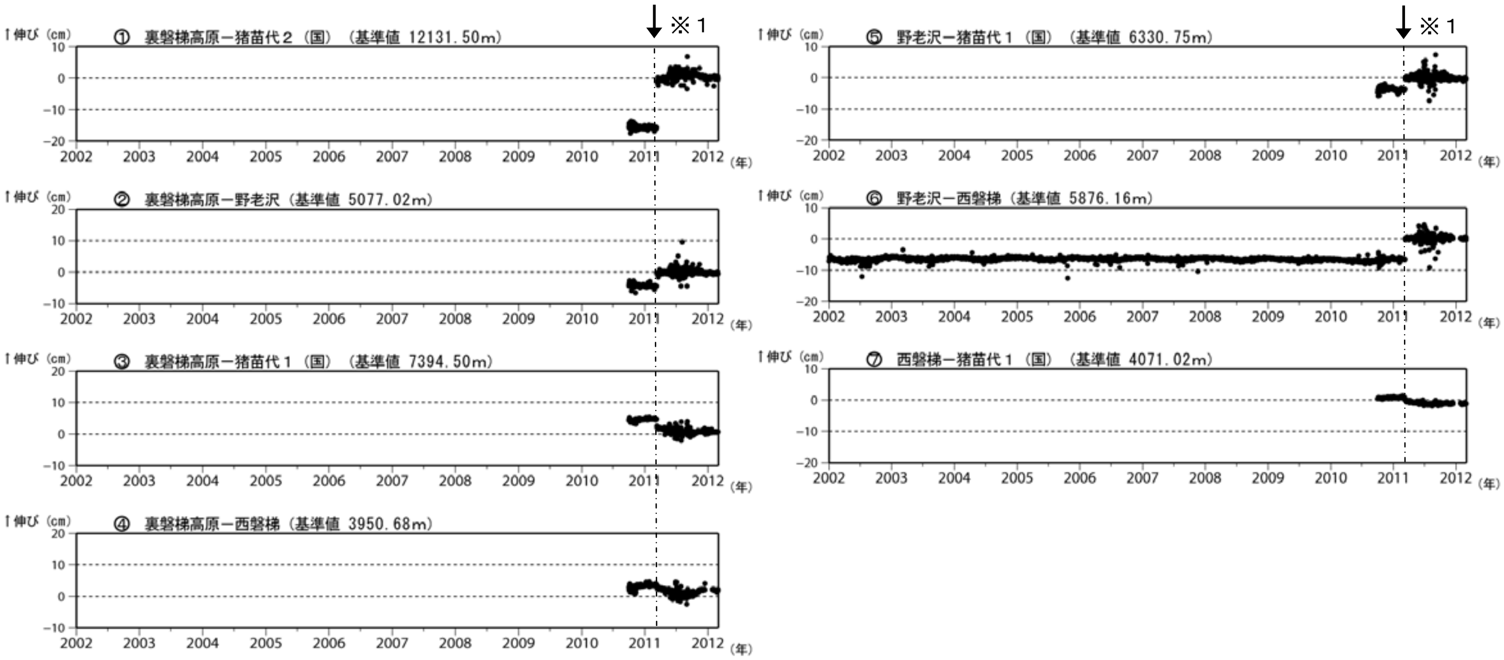

図７※　磐梯山　GPS 基線長変化図（2002 年１月～2012 年２月）

2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。

①～⑦は図６の GPS 基線①～⑦に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を表しています。

※１：2011 年３月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響による